

# 人工知能学会理事会（第一回）議事次第

1986年9月11日8（木）

1. 会長挨拶（福村）
2. 経過報告（大須賀、上野）
3. 現状報告（大須賀、佐々木）
4. 理事会関連（福村）
  - (1) 担当理事
  - (2) 理事会の運営
  - (3) 理事会の案内
  - (4) 監事
5. 各担当提案
  - (1) 企画担当理事（白井）
  - (2) 事業担当理事（大須賀）
  - (3) 編集担当理事（志村正）
  - (4) 財務担当理事（佐々木）
  - (5) 庶務担当理事（上野）
6. その他
  - (1) 事務局の設置（大須賀）
  - (2) 会員の募集について（大須賀）
  - (3) オーム社との契約（志村正、大須賀）
  - (4) 委員会等への支出について（佐々木）
  - (5) その他意見交換

各位殿

人工知能学会第1回理事会配布資料の送付について

昭和61年9月30日

人工知能学会) 福村晃夫

人工知能学会第1回理事会において配布されました資料一式を下記の通り送付致しますのでご査収下さい。

記

- 資料1-1 人工知能学会役員名簿
- ” 1-2 人工知能学会設立発起人会議事録
- ” 1-3 人工知能学会設立総会議事録
- ” 1-4 会員数の現状と目標 (案) 他
- ” 1-5 人工知能学会会誌編集委員会規程
- ” 1-6 人工知能学会誌編集について
- ” 1-7 人工知能学会予算書 (案)
- ” 1-8 庶務担当
- ” 1-9 覚え書 (案)
- ” 1-10 理事会委員会の費用の支給基準 (案)
- ” 人工知能学会会則
- ” 人工知能ハンドブック刊行企画についてのお伺い

人工知能学会役員名簿

S.61.9 No.1

役職	氏名	勤務先	勤務先住所 (電話)
会長	福村 晃夫	名古屋大学工学部情報工学科教授	☎464 名古屋市千種区不老町 ☎ 052-781-5111
副会長	大須賀節雄	東京大学工学部 境界領域研究施設教授	☎153 東京都目黒区駒場 4-6-1 ☎ 03-485-3111
副会長	山田 博	㈱富士通研究所 川崎研究所所長	☎211 川崎市中原区上小田中 1015 ☎ 044-777-1111 内線 2-6004
理事	相磯 秀夫	慶応義塾大学理工学部教授	☎223 横浜市港北区日吉 3-14-1 ☎ 044-63-1141
	石原孝一郎	日立システム開発研究所第5部長	☎194 川崎市麻生区王禅寺 1099 ☎ 044-966-9111
	市川 惇信	東京工業大学 総合理工学研究科教授	☎227 横浜市緑区長津田町 4295 ☎ 045-922-1111
	上野 晴樹	東京電機大学理工学部教授	☎350-03 埼玉県比企郡鳩山町大字石坂 ☎ 0492-96-2911
	尾上 守夫	㈱リコー研究所所長	☎227 横浜市港北区新羽町 4686 ☎ 045-593-3411
	加藤 康雄	日本電気C&C研究所所長	☎213 川崎市宮前区宮崎 4-1-1 ☎ 044-855-1111
	後藤 英一	東京大学理学部 情報科学科教授	☎113 東京都文京区本郷 7-3-1 ☎ 03-812-2111
	佐々木浩二	アドイン研究所代表取締役	☎ 東京都渋谷区神南町 1-15-8 兼仲ビル4階 ☎ 03-770-7311
	志村 則彰	カシオ計算機開発副本部長	☎190-11 東京都西多摩郡羽村町東町3-2-1 ☎ 0425-55-7211
	志村 正道	東京工業大学工学部 情報工学科教授	☎152 東京都目黒区大岡山 2-12-1 ☎ 03-726-1111
	白井 良明	電子技術総合研究所制御部長	☎305 茨城県筑波郡谷田部松代 5-553-2 ☎ 0298-54-5412

## 人工知能学会役員名簿

S.61.9 No.2

役職	氏名	勤務先	勤務先住所 (電話)
理事	辻 三郎	大阪大学基礎工学部教授	〒560 大阪市待兼山町 1-1 ☎ 06-844-1151
	戸田 巖	日本電信電話㈱ N T T情報通信処理研究所所長	〒238 横須賀市横須賀局私書箱 8 ☎ 0468-59-3100 直通
	戸田 正直	北海道大学文学部行動科学科教授	〒060 札幌市北区北十条西 7 ☎ 011-716-2111
	長尾 真	京都大学工学部電気第 2 学科教授	〒606 京都市左京区吉田本町 ☎ 075-751-2111
	新田 義雄	富士電機㈱システム事業本部長	〒100 東京都千代田区有楽町 1-12-2 ☎ 03-211-7111
	野口 正一	東北大学電気通信研究所 教授	〒980 仙台市片平 2-1-1 ☎ 0222-27-6200
	洲 一博	新世代コンピュータ 技術開発機構所長	〒108 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル21階 ☎ 03-456-3191
	古川 俊之	東京大学医学部 医用電子研究施設教授	〒113 東京都文京区本郷 7-3-1 ☎ 03-812-2111
	森 健一	㈱東芝 総合研究所企画担当部長	〒 川崎市幸区小向東芝町 1 ☎ 044-511-2111
	山本 正隆	沖電気工業㈱ 総合システム研究所所長	〒108 東京都港区芝浦 4-10-3 ☎ 03-454-2111
顧問	猪瀬 博	東京大学教授 学術情報センター所長	〒113 東京都文京区本郷 7-3-1 ☎ 03-812-2111
	榎本 肇	富士通国際情報社会科学研究所所長	〒144 東京都大田区新蒲田 1-17-25 内線 744-3650
	大野 豊	京都大学工学部情報工学科教授	〒606 京都市左京区吉田本町 ☎ 075-751-2111
	坂井 利之	京都大学工学部情報工学科教授	〒606 京都市左京区吉田本町 ☎ 075-751-2111 内線5371

## 人工知能学会設立発起人会議事録

1. 日時 昭和61年4月26日 14時 — 15時

2. 場所 東京都港区六本木7-22-1  
東京大学生産技術研究所第一会議室

3. 出席発起人

別紙

### 4. 議事の経過及び結果

互選により大須賀節雄氏を議長に選び、次の7つの議案について逐次審議することとなった。

#### 第1号議案 人工知能学会の設立について

議長より人工知能学会設立発起人会開催までの経緯に関する説明があった後、配布された別紙設立趣意書にもとづき、この趣旨のもとに、将来は社団法人となることを目標に、当初は任意団体の形で人工知能学会を設立したい旨を諮り、満場一致でこれを可決し、直ちに正式な学会設立準備作業を開始することを決議した。

#### 第2号議案 議事録署名人の選任

議長より本日の議事の経過を議事録にまとめるに当り、議事録署名人として福村晃夫氏および、小山照夫氏の2名を選任したい旨を諮り、満場一致で可決した。

#### 第3号議案 設立発起人代表の選任

議長より設立手続の円滑化を図るため、設立発起人代表に福村晃夫氏を選び、学会設立にあたっての一切の権限を委任したい旨を諮り、満場一致で可決した。

#### 第4号議案 設立準備委員会委員の選任

福村晃夫設立発起人代表から、昭和61年7月24日に学会設立総会を開催すること、並びに設立総会に向けての具体的準備作業を行うため設立準備委員会を置き、大須賀節雄氏を準備委員会幹事に、また配布された別紙設立発起人名簿に示す、有川節夫氏以下13名を設立準備委員会委員として選任したい旨提案があり、満場一致で可決した。

第5号議案 会則案の説明

上野晴樹氏より、配布された別紙会則案についてその趣旨と目的を中心に説明があり、この案を設立総会における議題としたい旨説明があった。なおこの案について意見のある場合には、設立総会までに設立準備委員会まで連絡いただきたい旨依頼があった。

第6号議案 昭和61、62年度事業計画案ならびに予算案説明

佐々木浩二氏より、昭和61、62年度の事業計画について、学術集会、研究会、講習会の開催、学会誌の発行、事務所の設立、国際活動の推進等を予定しており、予算規模としては、昭和61年度の会員を約2,000名、62年度の会員を約3,000名として考えたい旨説明があった。また社団法人化のための基礎資金として総額3,000万円の寄付を関連業界各社にお願いし、了承を得ている旨併せて報告があった。

第7号議案 学会誌の発行に関する説明


志村正道氏より、学会誌の発行に向けて、具体的な活動が開始されており、昭和61、62年度は季刊とし、総ページ数約150ページ、そのほぼ半分を論文発表とする等、学会誌編集の基本方針に関する説明があった。

以上により本日の議事を終了し、設立発起人代表となった福村晃夫氏より挨拶のあった後、議長は今後の協力方を懇請して閉会を宣した。

昭和61年4月26日


人工知能学会設立発起人会

議長

大須賀節雄 

議事録署名人

同

福村晃夫 

福村晃夫 

人工知能学会設立発起人会（4月26日）出席者名簿

大学関係

- 大須賀 節雄（東京大学工学部境界領域研究施設教授）  
石塚 清（東京大学生産技術研究所助教授）  
上野 晴樹（東京電機大学理工学部経営工学科教授）  
打浪 清一（大阪大学工学部通信工学科）  
小原 啓義（早稲田大学工学部教授）（代理出席）  
大芝 猛（名古屋工業大学電気情報工学科教授）  
岡本 栄一（日本女子大学文学部教育学科教授）  
金森 吉成（東北大学電気通信研究所助教授）  
北橋 忠宏（大阪大学産業科学研究所教授）  
小林 重信（東京工業大学総合理工システム科学専攻助教授）  
小山 照夫（浜松医科大学附属病院医療情報部助教授）  
志村 正道（東京工業大学工学部情報工学科教授）  
堂下 修司（京都大学工学部情報工学教室教授）  
福村 晃夫（名古屋大学工学部情報工学科教授）  
藤原 謙（筑波大学電子情報工学系教授）  
古川 俊之（東京大学医学部医用電子研究施設教授）  
吉田 将（九州工業大学情報工学部創設準備室教授）

国立・公的機関関係

- 諏訪 基（通産省工業技術院電子技術総合研究所人間システム研究室長）  
田中 卓史（国立国語研究所）  
原田 実（電力中央研究所知識処理研究室主査）  
山田 恒夫（財団法人医療情報システム開発センター、システム設計課長）

企業関係

- 雨宮 真人（NTT基礎第一研究室長）  
佐々木 浩二（日東プラントエンジニアリング、アドイン研究所取締役）

法人発起人

キャノン株式会社	浅野	俊昭	知能工学研究部第13研究室長
国際電信電話株式会社	武田	学	研究所第一特別研究室長
シャープ株式会社	西岡	郁夫	技術本部コンピュータシステム 研究所長
住友電気工業株式会社	近藤	幾雄	研究開発本部基礎技術研究所 電子技術研究部主任研究員
株式会社東芝	笠見	昭信	総合研究所技術管理担当部長
日本アイ・ビー・エム株式会社	藤崎	哲之助	サイエンス・インスティテュート 知識ベースシステムズ担当
日本デジタルイクイップメント 株式会社	谷	友幸	人工知能技術センター 人工知能企画担当課長
日本ユニパック株式会社	柳生	孝昭	取締役、システム本部長
ファナック株式会社	榎原	伸介	主任研究員（兼）基礎技術研究所 榎原研究室長
富士通株式会社	棚橋	純一	川崎研究所情報処理研究部門 人工知能研究部長
富士電機株式会社	石井	信義	システム事業本部情報処理事業部長
松下電器産業株式会社	内田	源樹	社会業務室参事
三菱電機株式会社	田中	浩二	技術管理部
株式会社リコー	岡本	明	中央研究所 451研究室長



人工知能学会設立総会議事録

- 1. 日時 昭和61年 7月24日 13:00 — 14:00
- 2. 場所 東京都豊島区目白1-5-1 学習院記念会館正堂
- 3. 出席会員 別紙
- 4. 総合司会 白井 良明 (電子技術総合研究所)
- 5. 議事の経過及び結果

審議に先立って福村晃夫(名古屋大学)設立発起人代表・設立準備委員会代表からの挨拶並びに、大須賀節雄(東京大学)設立準備委員会幹事からの、設立総会までの経過報告があった後、出席者の互選により、辻三郎氏(大阪大学)を議長に選び、次の7議案について逐次審議することとなった。

第1号議案 人工知能学会の設立について

議長より人工知能学会の設立について審議したいと提案があり、別紙配布された設立趣意書に基づいて大須賀節雄設立準備委員会幹事より設立の趣旨説明があった後、この趣旨のもとに人工知能学会を設立したい旨を語り、満場一致でこれを可決し、直ちに具体的活動に入ることを決議した。

第2号議案 第1期会長の選出

議長より第1期の学会会長を選出したいと提案があり、出席者の互選により福村晃夫氏(名古屋大学)を第1期会長に選出した。なお会長が決定したことに伴い、以後の議事進行は会長が取り行うこととなり、議長が交替した。

第3号議案 第1期役員の選出

議長より第1期役員として別紙の通り理事及び顧問の就任をお願いしたいとの提案があり、協議の結果満場一致で役員の予定者を決定した。

第4号議案 学会会則案の審議

議長より学会会則案を審議したいと提案があり、上野晴樹(東京電機大学)設立準備委員会委員より別紙配布された資料に基づき説明があった後、審議の結果満場一致で会則案を承認した。

第5号議案 昭和61年度事業計画案の審議

議長より昭和61年度事業計画案について審議したいと提案があり、志村正道（東京工業大学）設立準備委員会委員より、会誌発行については昭和61年9月に第一号を発行し昭和62年度までは季刊とすること、学術大会については昭和61年度は開催せず昭和62年度総会と併せて開催を予定していること、研究会の早期発足と講習会の開催を予定していることを内容とする説明があり、審議の結果満場一致で昭和61年度事業計画を承認した。

第6号議案 昭和61年度予算案の審議

議長より昭和61年度予算案について審議したいと提案があり、佐々木浩二（株式会社アドイン研究所）設立準備委員会委員より、学会入会並びに寄付申込み状況について説明があった後、別紙配布された資料に基づき昭和61年度予算案の説明が行われ、審議の結果満場一致で昭和61年度予算案を承認した。

第7号議案 議事録署名人の選任

議長より本日の議事の経過を議事録にまとめるに当り、議事録署名人として辻三郎氏及び白井良明氏を選任したいとの提案があり、審議の結果満場一致で議事録署名人の選任を承認した。

以上により本日の議事を終了した。引続き関連学会からの祝辞があった後、議長は今後の協力方を懇請して閉会を宣した。



昭和61年7月24日

人工知能学会設立総会

議長

議事録署名人

同

福村晃夫   
白井良明 

4. 現状報告（丸夏賀、佐々木）

（原案：財務担当）

会員数の現状と目標（案）

	(現状)	(目標)	(目標)
	61/9	62/2	62/9
正 会 員	761名	2000名	3000名
学 生 会 員	67名	100名	200名
賛 助 会 員	68口 ( 34社 )	100口 ( 50 社 )	300口 ( 100 社 )

会員数の拡大のための施策（案）

(1) 正会員，学生会員

- ・発起人に対し全員正会員になるよう勧誘状を送る。
- ・情報処理学会（特にAI/K E研究会）、ソフト科学会、認知科学会、I C O T、AI協会等の会員に勧誘状を送る。
- ・本学会外の各種委員会、研究会、セミナーなどで宣伝、勧誘する。
- ・新聞記事に取り上げてもらう。

(2) 賛助会員

- ・引き続き関心の高い企業に直接お願いし、またお願い済み企業についてはフォローアップを続ける。
- ・研究会を企画し勧誘する。
- ・寄付を頂いた22社に対し、賛助会員もお願いする。（例えば62年度分を予めお願いする。）
- ・本学会以外の各種委員会・研究会（特に業界のAI研究会）などで勧誘する
- ・賛助会員の特典（別紙案参照）を会誌上に明示し募集する。

名誉会員・正会員・学生会員

会員番号	氏名	学位	勤務先	住所
8600253	相川 哲盛		日立コンピュータコンタクト(株) 第1システム部第1グループ 03-763-1111(447)	214 川崎市多摩区中野島 1332 日立C K 中野島寮 044-911-8117
8600004	相磯 秀夫	工学博士	慶応義塾大学 理工学部電気工学科 044-63-1141 (3320)	236 横浜市金沢区高岡西 1-43-9 045-771-3163
8600459	相田 仁	工学博士	東京大学 工学部電気工学科 03-812-2111(6652)	156 世田谷区宮坂 1-10-6 03-429-6943
8600090	相原 恒博	工学博士	愛媛大学 工学部電子工学科 0899-75-3478 (3747)	791-11 松山市南高井町 0899-75-3478
8600765	青木 一郎		三菱重工業株式会社 原動機事業本部 03-433-5131 (6300)	145 大田区田圃綱布 4-30-20 03-721-0939
8600786	青木 達郎	修士	日本ディスプレイアップメント(株) AIシステム部システム第2課 03-989-7055	220 横浜市西区平沼 1-40-17-216 045-324-3526
8600091	青野 義和	工学修士	(株)神戸製鋼所 エンジニアリング事業部計装技術部 078-862-7649	657 神戸市港区榎原 白旗野山町 2-3-1 078-881-7011
8600092	赤間 清		北海道大学 文学部行動科学科 011-716-2111(4158)	060 札幌市中央区北5西18 クイハレス702 011-621-3039
8600252	秋元 晴雄		(株)富士通研究所 プログラム開発部開発課 044-777-1111(2-6157)	145 大田区田圃綱布2-50-6 原塚方 03-721-0147
8600455	秋本 学	修士	清水建設開発 技術開発本部企画部 03-535-3371 (215)	272-01 市川市相ヶ丘 4-14-14-405 0473-58-9472
8600251	秋山 健二		(株)ART通信システム研究所 知能処理研究室 06-949-1825	561 豊中市服部本町 3-13-13 NTT社宅302号 06-866-2636
8600628	秋山 健二	工学博士	大阪電気通信大学 工学部精密工学科 0720-24-1131 (202)	560 豊中市北桜塚 4-5-2
8600804	秋山 信明		日本電気株式会社 C&Cビジネスシステム推進本部 03-453-5511(4294)	244 横浜市戸塚区矢部町 1025-27 キッズ戸塚202 045-871-4362
8600093	上石 陽一	学士	ハンテック(株) 03-770-7300	247 鎌倉市城廻 735-18 0467-44-0434
8600250	浅川 新一	学士	(株)東京システム技研 第1DA開発部 03-312-2651	206 多摩市聖ヶ丘 2-25-1-206 0423-73-7618
8600065	朝日 直雄	工学士	東京工業大学 工学部情報工学科志研 03-726-1111(3042)	193 八王子市めじろ台 2-37-1 0426-65-1488
8600481	旭 貞朗	理学博士	東洋大学 経営学部 03-945-7461	272 市川市本北方 3-9-4 タウンハウス市川B-11 0473-39-0529
8600174	東 浩久	文学士	フアコム・ハイテック フアコム本部システム第5部第2課 03-264-1131 (3722)	213 川崎市高津区下野毛 878 富士通下野毛寮 044-822-5355
8600846	阿瀬 始	修士	日本鋼管(株) システム技術研究所 044-355-1111 (2937)	104 中央区佃2-11-6-1207 03-533-4787
8600847	渥美 龍之			464 名古屋市千種区 南明町3-36 052-762-3335
8600094	渥美 義賢	医学博士	東京医科歯科大学 医学部神経精神医学教室 03-813-6111 (3242)	233 横浜市港南区港南台 5-2 045-831-2931
8600052	荒井 武		ライオン(株) プロセス開発研究所 03-613-6669(2475)	336 埼玉県浦和市高砂 4-12-9 0488-61-8746
8600499	新井 久明		三菱原子力工業 技術開発統括部 03-433-8251 (2225)	347 埼玉県加須市油ヶ丘 1202 0480-65-1088
8600530	荒井 秀明	学士	東京電機大学 大学院 理工学研究科 システム工学専攻 0492-96-2911 (337)	350-03 坂戸市清瀬町 14-6 さとろ清瀬14南 202
8600095	新井 英樹		工学院大学 大学院南研究室 03-342-1211 (350)	156 世田谷区桜上水 2-22-20 03-329-7968
8600249	荒井 良徳		CSK総合研究所 知的OA研究室 086-9711	168 杉並区永福 4-20-22-207 328-5667
8600248	荒川 淳三	修士	日本製鉄(株) 情報通信システム部 03-242-4111(3909)	166 杉並区和田1-58-1-404 03-382-6176
8600247	荒俣 博	工学修士	(株)帝人システムテクノロジー 第二事業部 応用技術第3グループ 03-506-4455	211 川崎市中原区今井南 562 帝人小杉寮

賛 助 会 員

口数

会員番号	機 関 名	住 所
< あ >		
8600014A	株式会社 アドイン研究所	150 東京都渋谷区神南1-15-8 東横ビル4F 03-770-7311
8600015A	出光興産 株式会社	100 千代田区丸の内3-1-1 03-213-3111(2115)
8600035A	大阪ガス 株式会社	541 大阪市東区平野町5丁目1 06-202-2221(3110)
8600007A	株式会社 大林組 東京本社	東京都千代田区神田司町2-3 03-292-1111(3801)
< か >		
8600031A	株式会社 開発計算センター	100 東京都千代田区丸の内1丁目8番2号 03-213-0921
8600030A	久保田鉄工 株式会社	661 尼崎市浜1丁目1-1 06-489-7571
8600029A	コスモ石油 株式会社	105 港区芝浦1丁目1番1号 03-798-3280
< き >		
8600028A	昭和シェル石油 株式会社	100 千代田区森が関3-2-5 森が関ビル 03-580-0111(5600)
8600013A	(株)システム情報	113 文京区本郷1-5-7宝生会館 03-818-9500
8600027A	新日本製鐵 株式会社	100 東京都千代田区大手町2-6-3 03-242-4111
8600005A	センチュリー・リサーチ・センタ(株)	103 東京都中央区日本橋本町3-2 03-665-9762
8600002A	ソニー・テクトロニクス(株)	141 品川区北品川5-9-31 03-448-4873
< た >		
8600032A	学校法人 電子学園 日本電子専門学校	160 新宿区百人町1-25-4 03-369-9331
8600017A	財団法人 電力中央研究所 経済研究所	100 東京都千代田区大手町1-6-1 03-201-6601
8600026A	東亜燃料工業 株式会社	100 千代田区一ツ橋1-1-1A レスサイトビル 03-286-5042
< な >		
8600025A	日揮 株式会社	232 横浜市南区別所1-14-1 045-712-1111
8600011A	日揮情報システム 株式会社	231 横浜市中区羽衣町3-55-1 045-252-9811(510)
8600021A	日産自動車 株式会社	237 横須賀市夏島町1 0468-65-1123(3800)
8600018A	ニチメンデータシステム 株式会社	103 東京都中央区日本橋本町1-5 03-241-2611
8600022A	日本科学技術情報センター	100 千代田区永田町2-5-2 03-581-6411(214)
8600024A	日本鉱業 株式会社	105 港区虎ノ門4丁目1番34号 日経証券ビル 03-505-8510
8600006A	株式会社 日本コンピュータ研究所	220 横浜市日区北幸2-5-15 045-324-0111
8600001A	日本シンボリック株式会社	104 東京都中央区銀座1丁目15番6号 03-562-3600
8600010A	日本石油 株式会社	105 東京都港区西新橋1-3-12 03-502-1111(3791)
8600019A	日本電気ソフトウェア(株) 基本システム部	108 港区高輪2-17-11 03-444-3211(350)
8600020A	日本電気ソフトウェア(株) OAシステム	108 港区高輪2-17-11 03-444-3211(450)
8600023A	日本電装 株式会社	448 愛知県刈谷市昭和町1-1 0566-22-9181
8600009A	社団法人 日本能率協会	105 港区芝公園3-1-22 03-434-6211
8600034A	日本ビジネスオートメーション 株式会社	151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目50番11号 明星ビル内 03-404-2221(212)
8600016A	野村コンピュータシステム 株式会社	160 新宿区四谷4-29 03-352-8211
< は >		
8600004A	株式会社 芙蓉情報センター	107 東京都港区赤坂4丁目7番14号 03-582-5311(230)
< ま >		
8600008A	(株)三菱総合研究所	100 千代田区大手町2-3-6 03-270-9211
8600012A	(株)メイテック	456 名古屋市中熱田区金山町1-7-5 052-681-6846
< や >		
8600003A	(株)ユー・ビー・ユー	162 東京都新宿区市谷船河原町1番地 03-235-7561(404)
8600033A	株式会社 リソー・アドバンスドシステム	106 東京都港区西麻布4-16-13 第28森ビル10F1005 03-486-1140

人工知能学会設立寄付リスト

沖電気工業株式会社	200万円
カシオ計算機株式会社	100万円
キヤノン株式会社	100万円
国際電信電話株式会社	100万円
シャープ株式会社	150万円
住友電気工業株式会社	150万円
ソニー株式会社	150万円
株式会社東芝	200万円
日本アイ・ビー・エム株式会社	200万円
日本デジタルイクイップメント株式会社	200万円
日本電気株式会社	200万円
日本電信電話株式会社	200万円
日本ユニパック株式会社	150万円
株式会社日立製作所	200万円
フナック株式会社	100万円
富士ゼロックス株式会社	150万円
富士通株式会社	200万円
富士電機株式会社	150万円
松下電器産業株式会社	200万円
三菱電機株式会社	200万円
株式会社リコー	150万円

(追加)

富士通エフ・アイ・ビー株式会社	50万円
-----------------	------

(合計 3,500万円)

人工知能学会賛助会員加入のお願い

法人化基金

1. 目標口数 250口 (2,000万円)

2. 口数の目安

寄付者	コンピュータ/電機メーカー	大手 10口
		中堅 8口
	コンピュータ・ユーザ	大手 6口
	ソフトウェア・ハウス	大手 4口
	その他	2口
	個人	1口

## 賛助会員と寄付者の特典（案）

### 1. 賛助会員の特典

- (1) 発表以外は、正会員と同等の権利を有す。
- (2) 正会員以上の権利は次の通り
  - (イ) 初年度は第2号会誌に、会員名を口数の大きい順に口数共々記載。次年度以降は毎年6月号に同様記載。
  - (ロ) 名簿に賛助会員として一括掲載（あいうえお順、口数付記）
  - (ハ) 評議員（最大枠150人）の派遣 ----- 1名/5口
  - (ニ) 学会誌の無料入手 ----- 2冊/1口
  - (ホ) 学会誌（追加要求分）、論文誌（将来発行）などの割引購入 --- 3割引
  - (ヘ) 全国大会の無料聴講 ----- 1名/1口
  - (ト) 常設の研究会のどれか1つに無料参加 ----- 1名/1口

### 2. 寄付者の特典

- (1) 発表以外は正会員と同等の権利を有す。
- (2) 正会員以上の権利は次の通り
  - (イ) 設立寄付者は初年度第2号会誌に、企業名を金額順、あいうえお順に金額共々記載。（それ以外の寄付者は毎年6月号に同様記載。）
  - (ロ) 名簿に寄付者として一括掲載（あいうえお順）
  - (ハ) 100万円以上の設立寄付者から理事の派遣（初年度と次年度に分ける）
  - (ニ) 設立寄付者は学会誌の無料入手（初年度のみ） ----- 4冊/50万円  
（それ以外の寄付者は寄付の年のみ学会誌の無料入手 --- 2冊/50万円）
  - (ホ) 設立寄付者は全国大会の無料聴講（62年度のみ） --- 4名/50万円  
（それ以外の寄付者は寄付の年のみ無料聴講 ----- 2名/50万円）
  - (ヘ) 設立寄付者は常設の研究会のどれか1つに無料参加 --- 4名/50万円  
（それ以外の寄付者は寄付の年のみ無料参加 ----- 2名/50万円）  
（61年度のみ）

## 人工知能学会会誌編集委員会規程

昭和61年9月 11 日制定

- 第1条 本会会則第20条により会誌編集委員会を置く。
- 第2条 会誌編集委員会（以下委員会という）は、会誌の発行を目的とし以下の業務を行う。
1. 編集の企画、立案、原稿依頼
  2. 投稿論文（総合論文、原著論文、ショートノートなど）の査読および依頼原稿（チュートリアル、解説、報告、寄書、随想、講演、グループ紹介、図書紹介、文献紹介、用語解説、会員の声、学生メール欄、カレンダーなど）の閲読
  3. その他会誌の編集に関する業務
- 第3条 委員会に委員長および副委員長各一名をおく。委員長は本会会則第21条により、理事会の議決を経て理事の中から会長が委嘱する。
- 第4条 委員会は会員から選ばれた30名以内の委員によって構成する。副委員長および委員は委員長が推薦し、理事会の承認を経て、会長が委嘱する。委員会に幹事若干名をおくことができる。幹事は委員長が委員の中から選び委嘱する。
- 第5条 委員長および副委員長の任期は1年とし、再任を妨げない。委員の任期は2年とし、再任を妨げない。委員長、副委員長および委員はひきつづき2期を越えて在任できない。
- 第6条 委員長は委員会を招集し、原則として毎月1回開催する。副委員長は委員長を補佐し、委員長の委嘱により委員長を代行する。
- 第7条 委員会の中に小委員会をおくことができる。
- 第8条 本規程は本会会則第22条により、理事会の議決を経て制定、改変される。



## 人工知能学会誌編集について

志村 正道

## 1. 現状

- 第1巻第1号（9月創刊号）が発行、現在配布中
- 第1巻第2号（11月号）の編集を完了、現在制作中
- 第2巻第1号（2月号）編集中
  - 小特集 高次人工知能へ向けてのパラダイム
- 第2巻第2号（5月号）企画
  - 小特集 インタフェイス

## 2. 記事内容

- 解説、チュートリアル
- 技術資料
- 論文、ショートノート
- 研究室紹介、学会報告、用語解説、読書案内、文献紹介、学生メール、カレンダー

## 3. 編集委員会

- 月1回 開催
- 委員
 

関東	10	関西	3	
東海	2	東北、九州		各1

## 4. 予算

		計
• 室代	0	
• 交通費	500 × 12人 × 12回	72,000 円
• 食事代	1,200 × 12人 × 12回	172,800
• 依頼原稿料	3,000/頁 × 8頁 × 4回 × 8件	768,000
• 査読料	3,000/件 × 6件 × 4回	72,000
		412,800
		1,087

## 5. その他

- ロゴマーク募集（ブルーページ）
- PR 配布先

5. 各担当提案  
(取務担当理事)

人工知能学会予算書(案)

昭和61年3月31日厚案。  
設立総会(61.7.24)で  
承認済み。

(1) 収入の部

2,000名  
全大会1回

(単位 円)

勘定科目	初年度 61.7~62.3	次年度 62.4~63.3	備考
基本財産運用収入	900,000	1,200,000	30,000,000 正会員、学生会員、聴取会員
事業収入	13,500,000	28,000,000	
入会金収入	4,100,000	2,100,000	
会費収入	20,400,000	32,800,000	
雑収入	2,500,000	4,000,000	
当期収入合計	41,400,000	68,100,000	
前期繰越収支差額	—	△200,000	
収入合計	41,400,000	67,900,000	

(1) 支出の部

(単位 円)

勘定科目	初年度 61.7~62.3	次年度 62.4~63.3	備考
設立費	2,000,000	—	
管理費	12,000,000	20,000,000	
事業費	27,600,000	44,000,000	
予備費	0	0	
当期支出合計	41,600,000	64,000,000	
次期繰越収支差額	△200,000	3,900,000	
支出合計	41,400,000	67,900,000	

人工知能学会事務局宛 ご提出下さい (61.9<sup>10月末</sup>~~30~~迄)

各委員会  
各支部  
事務局

} 人工知能学会予算書(案)

昭和61年 月 日

(1) 収入の部

(単位 円)

勘定科目	初年度 61.7~62.3		備考
基本財産運用収入 事業収入 入会金収入 会費収入 雑収入			
当期収入合計			
前期繰越収支差額			
収入合計			

(1) 支出の部

(単位 円)

勘定科目	初年度 61.7~62.3		備考
設 立 費 管 理 費 事 業 費 予 備 費			
当期支出合計			
次期繰越収支差額			
支出合計			

## 担当業務

- 1) 一般的庶務業務
- 2) 会員募集活動

## 進め方

## 1) 事務局との関係

現在、事務局、事務局長とも未定――→大須賀副会長を中心に検討中  
当分の間、庶務委員会と暫定事務局で書記業務を行なう  
――→委員の理事会への出席を了解して頂きたい（書記）

## 2) 庶務委員会

- A. 庶務業務の円滑化、合理化、事務局の改善等の対策
- B. 会議の計画、運営、記録に関する業務
- C. 会員の募集活動――→WG  
PR, キャンペーン、  
ニュースレター

## 3) 会員募集活動

庶務委員会の中にWGをつくる  
新聞、雑誌等によるPR  
キャンペーンのためのセミナー等  
ダイレクトメール

## 4) ニュースレター

企画、研究会、部会、セミナー等の案内  
意見の交換  
文献の紹介  
短い解説  
その他

## 覚え書（案）

人工知能学会機関誌〔人工知能学会誌〕の出版に関して、

（甲） 人工知能学会  
会長 福村 晃夫 印

（乙） 株式会社オーム社  
代表取締役 種田 則一 印

との間において、下記の覚え書を締結する。

昭和61年9月 日

## 記

- 1.（出版物の名称） 人工知能学会誌と称する。
- 2.（出版物の発行） 人工知能学会発行とする。
- 3.（出版権の設定） 甲は、乙に出版権を設定し、これに基づき、乙は人工知能学会誌の編集制作および販売を行なう。
- 4.（発行計画） 当面、年4回発行とし、二三年後に年6回をめざす。
- 5.（出版物の体裁） B5判、仮製、総ページ150以内
- 6.（業務の分担） 甲は、査読済み論文原稿およびその他掲載用の編集可能な原稿を乙に提供し、乙は、原稿調整、誌面レイアウト、校正、製作などの編集制作および販売を行なう。
- 7.（出版物の納入と経費） 乙は、制作した出版物を、一定部数を甲に納入し、甲は、制作に要した費用を乙に支払う。細目は、別途、見積書による。
- 8.（出版物の市販と印税） 乙は、会員以外のニーズに応えるため、甲と協議による定価で、一般市販できるものとし、実売部数に対して定価の15%を印税として甲に支払う。
- 9.（広告の管理と収入の配分） 広告は、本誌に相応しいものに限定し、その管理は乙が行ない、広告管理に伴う手数料、編集製作費を差し引いた収益は、甲乙で折半する。
- ✓ 10.（著作権の二次使用） 本誌の著作物に関する著作権の二次使用については、甲乙協議する。
- 11.（その他） その他、双方必要と認めた事項については、その都度協議する。  
本覚え書は、発効1年後に、見直しを行なう。甲乙のいずれからか見直しの発議がなければ、継続するものとする。

以上

6. その他

(4) 委員会等への支出について

(町費相当)

理事会委員会の費用の支給基準 (案)

	理事会	委員会	備考
会場費	実費支給する	同左	極力安価 (6000円程度まで) な施設を使用のこと
交通費	原則支給せず	同左	開催日を年間を通じて予め計画することが望ましい
食事代	実費支給する	原則、食事時間帯を避ける (食事が必要な場合のみ実費支給する)	夕食の場合で1000円/人程度とする。

# 人工知能学会会則 (案)

昭和 61. 7. 24. 制定 (予定)

## 第1章 総則

### 第1条 (名称)

本会は、人工知能学会 (英文名: Japanese Society for Artificial Intelligence, 略称 JSAI) と称する。

### 第2条 (所在地)

本会は (仮) 事務所を、〒153 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学工学部境界領域研究施設 大須賀研究室内に置く。

### 第3条 (支部)

本会は、理事会の議決を経て、必要の地に支部を置くことができる。  
2. 支部には支部長をおく。

## 第2章 目的および事業

### 第4条 (目的)

本会は、人工知能に関する総合的学問研究の促進をはかり、会員相互間および関連学協会との、交流の場を提供し、我が国のこの分野の学問および産業の進歩発展に貢献するとともに、国際的活動を通して、世界のこの分野の進歩に貢献することを目的とする。

### 第5条 (事業)

本会は、第4条の目的を達成するために次の事業を行なう。

- 1) 学術集会、研究会、講習会などの開催
- 2) 学会機関誌「人工知能学会誌」、および英文誌 "Journal of Japanese Society for Artificial Intelligence" (略称: JSAI) およびその他の刊行物の発行
- 3) 国内外の関連学会、諸団体との協力活動
- 4) 学術的調査・研究の推進
- 5) その他、本会の目的を達成するための諸活動

## 第3章 会員

### 第6条 (会員の種別)

本会の会員は、次の各号に該当し、所定の手続きを完了した者とする。

- 1) 正会員 本会の対象とする領域またはそれと関連ある領域において専門の学識、技術または経験を有する者
- 2) 学生会員 本会の対象とする領域またはそれと関連ある領域において勉学中の大学学部、大学院修士課程あるいはこれに準ずる学校に籍を置く学生
- 3) 賛助会員 本会の目的に賛同し、本会の事業を後援する個人、法人または団体
- 4) 名誉会員 本会の対象とする領域に於いて特に功績があり、理事会の決議を経て推薦された者

## 第7条 (会費)

本会の会費は次のとおりとする。

- 1) 正会員 8000円
  - 2) 学生会員 4000円
  - 3) 賛助会員 1口 80000円
2. 名誉会員は、会費を収めることを要しない。
3. 既納の入会金および会費は、いかなる事由があってもこれを返還しないものとする。

## 第8条 (入退会)

正会員および学生会員の入会は、正会員の場合2000円、学生会員の場合1000円の入会金を添えて入会申込書を提出し、理事会の承認を受けなければならない。

2. 賛助会員の入会は、理事会の決議により、会長がこれを推薦する。
3. 名誉会員に推薦された者は、入会の手続きを要せず、本人の承諾をもって会員となる。
4. 本会の会員で退会しようとする者は、理由を付して退会届けを提出しなければならない。

## 第9条 (資格の喪失)

会員は、次の事由によってその資格を喪失する。

- 1) 退会
- 2) 禁治産および準禁治産の宣告
- 3) 死亡、失勢および団体会員の場合はその団体の解散
- 4) 除名

## 第10条 (除名)

会員が次の各号の一つに該当するときは、理事会の議決を経て、これを除名することができる。

- 1) 会費を滞納したとき
- 2) この会の会員としての義務に違反したとき
- 3) この会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為のあったとき

## 第11条 (会員の特典)

本会の会員は、次の特典を優先的に受けることができる。

- 1) 本会が発行する機関誌の配布
- 2) 本会が発行する機関誌への投稿
- 3) 本会が開催する各種学術集会への参加
- 4) 本会関係出版物の購入の便宜

## 第4章 役員および評議員

### 第12条 (役員および評議員の構成)

役員および評議員は正会員をもって構成する。

- 1) 役員
  - 会長 1名
  - 副会長 3名以内
  - 理事 10名以上、25名以内 (会長および副会長を含む)
  - 監事 2名



顧問	5名以内
2) 評議員	
評議員	60名以上、150名以内

### 第13条 (任期)

役員および評議員の任期は2年とし、毎年その半数を改選する。再任については次のとおりとする。会長および副会長は同時に交代する。

会長	再任不可。
副会長	再任不可。
理事	再任可。ただし連続4年を越えることは出来ない。
監事	再任可。
顧問	再任可。
評議員	再任可。ただし連続4年を越えることは出来ない。

2. 理事および監事に欠員が生じたときは、後任者を会長が指名し、理事会の承認により決定する。この役員の任期は前任者の残任期間とする。

### 第14条 (役員および評議員の機能)

- 1) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
- 2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるときはこれを代行する。
- 3) 理事は、会長を補佐し会務を分担する。
- 4) 監事は、事業ならびに会計を監査する。
- 5) 顧問は、本会の事業その他について、求めに応じて助言をする。
- 6) 評議員は、理事会の諮問に応じ、本会の事業の遂行について審議し、答申する。

### 第15条 (役員および評議員の選出)

- 1) 会長は、理事の中から互選によって選出し、正会員の承認によって決定する。
- 2) 副会長は、理事の中から会長が指名し、理事会および正会員の承認によって決定する。
- 3) 理事は、評議員の中から互選によって選出し、正会員の承認によって決定する。
- 4) 顧問は、正会員の中から会長が指名し、理事会の承認によって決定する。
- 5) 監事は、評議員の中から会長が推薦し、理事会の承認によって委嘱する。
- 6) 評議員は、正会員の中から選挙によって決定する。ただし、定員の一部は会長が指名し理事会の承認によって決定することができる。

## 第5章 会議

### 第16条 (理事会)

理事会は、毎年10回以上会長が召集する。ただし、理事現在数の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、会長は臨時理事会を召集しなければならない。

2. 理事会の議長は会長とする。
3. 支部長および事務局長は理事会に出席することができる。
4. 理事会は現在理事数の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、書面をもって予め意思表示をした者は、出席者とみなす。
5. 理事会の議事は、この会則に別段の定めがある場合を除き、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### 第17条 (評議員会)

評議員会は、必要あるごとに会長がこれを召集する。

2. 評議員会の議長は会長とする。

#### 第18条 (総会)

通常総会は、毎年1回会計年度終了後3か月以内に、会長が召集する。

2. 臨時総会は、理事会が必要と認めるときには、1か月以内に召集しなければならない。

3. 通常総会の議長は会長とし、臨時総会の議長は、会議のつど会員の互選で決める。

4. 次の事項は、通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。

- 1) 事業計画および収支予算についての事項
- 2) 事業報告および収支決算についての事項
- 3) 財産目録についての事項
- 4) その他、理事会に於いて必要と認められた事項

5. 総会は、正会員現在数の7分の1以上出席しなければ成立しない。ただし、当該事項につき書面をもって予め意思を表示した者は、出席者とみなす。

6. 総会の議事は、この会則に別段の定めがある場合を除いて、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7. 総会の議事の要領および議決した事項は、会員に通知する。

#### 第19条 (議事録の保存)

総会、理事会および評議員会の議事録は、議長が作成し、議長および出席者代表2名以上が署名捺印のうえ、これを保存する。

### 第6章 委員会

#### 第20条 (委員会の設置)

本会の事業を円滑に運営するため、理事会の議決を経て、必要な委員会を置くことができる。

#### 第21条 (委員長)

委員会の委員長は、理事会の議決を経て、会長が委嘱する。

#### 第22条 (委員会規定)

委員会に関する規定は、理事会の議決を経て、別に定める。

### 第7章 研究会

#### 第23条 (研究会の設置)

本会の対象とする領域に於ける学問または技術の発達を期するために、特定の重要な研究分野に関する研究会を設置することができる。

#### 第24条 (研究会の運営)

研究会の運営に関する規定は、理事会の議決を経て、別に定める。

### 第8章 職員

#### 第25条 (事務局長および職員)

本会の事務を処理するために、事務局長およびその他の職員を置くことができる。

2. 事務局長は、会長が任命し、事務全般を掌握する。
3. 職員は、会長が任命する。

## 第9章 資産および会計

### 第26条 (資産)

本会の資産は次のとおりとする。

- 1) 入会金および会費
- 2) 事業に伴う収入
- 3) 資産から生ずる果実
- 4) 寄付金品
- 5) その他の収入

### 第27条 (資産の管理)

本会の資産は、別に定める規定に従って、会長が管理する。

### 第28条 (収支決算)

本会の収支決算は、毎年会計年度終了後3か月以内に会長が作成し、監事の意見を付け、理事会および総会の承認を受けなければならない。

### 第29条 (会計年度)

本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日とする。

## 第10章 会則の改正

### 第30条 (会則の改正)

本会則は、理事会および総会に於いて、おのおの4分の3以上の議決を経なければ、改正することはできない。

## 第11章 補則

### 第31条 (細則)

本会則の実施についての細則は、理事会および総会の議決を経て、別に定める。

### 第32条 (施行)

本会則は、1986年7月24日より施行する。

## 付則

### 第33条 (初年度規定)

本会は、初年度にかぎり1年理事を置くことができる。

昭和61年 9月11日

人工知能学会 殿  
侍史

株式会社オーム社  
常務取締役出版局長 佐藤政次



人工知能ハンドブック刊行企画についてのお伺い

謹啓 貴学会の発足をお祝い申し上げますとともに、順調なるご発展を、お喜び申し上げます。

この度は、人工知能学会誌の制作、発売のご下命を賜わり、誠に光栄に存じ上げますと共に、心をこめて鋭意、編集制作させて頂く所存でおります。

早速、創刊号をお届け申し上げましたが、未熟な点が多々あることを恐れます。ご高覧の上、お気づきの点がございましたならば、改善に誠意をもって対処する所存でございますので、ご指導ご鞭達のほどをよろしくお願い申し上げます。

さて、貴学会の発足に伴って、この分野の研究と技術開発のボルテージは、いやが上にも高まり、そのテンポはますます早まろうとしています。

小社もこの動向に対応して読者ニーズに応えるべく、貴学会員をはじめとする著者のご協力を得て、人工知能、知識工学に関する専門書の出版活動に、旺盛に取り組んでおります。

つきましては、かねてから企画構想中の上記のテーマにつきまして、貴学会の発足を機会に、人工知能学会編として発行することが最も相応しいと考え、ここに刊行を計画致したく、ご検討のほどを伏してお願い申し上げる次第でございます。

ご参考までに、検討資料と致しましてせん越ながら、企画概要案を添付させて頂きました。

発足後、何かと多事多用の折、誠に恐縮に存じますが、何分、準備に日時の要する企画であることに免じて、お諮り賜われれば幸甚に存じ申し上げます。

謹言

## 人工知能ハンドブック企画概要(案)

1. 書名 人工知能(AI)ハンドブック
2. 体裁 B5判、上製、1000PP.
3. 編纂機関 人工知能学会 編  
(敬称略) 委員長 人工知能学会会長または学会誌編集委員長
4. 主旨 人工知能学会発足3周年を記念した企画で、今日の我が国における人工知能研究の到達点を明らかにすると共に、この分野の研究開発の歴史、基礎科学、実際のハード、ソフトシステムなどの集大成をはかり、会員および関係研究者、技術者の利便に資することを目的に刊行する。
5. 編構成仮案 I. 基礎  
II. 認知科学  
III. 知識ベース  
IV. 自然言語  
V. パターン理解  
VI. アーキテクチャ  
VII. 第五世代計算機  
付. 開発史と各種システム事例
6. 部数定価 第一版第一刷 4000部  
(予定) 定 価 15000円
7. 印 税 3000部まで、定価の12%  
3001部以降、 14%
8. 刊行計画 企画検討、理事会審議 1986.9-
- 編纂委員会確立 1986.11
- 目次、執筆委員案決定 1987.3
- 詳細目次確定と執筆依頼 1987.5
- 脱稿予定 1987.10
- 調整完了 1987.12
- 発行予定 1988.9

以上